

町振興計画における地域福祉に関する施策の満足度

	指標の内容	初期値 2020年	中間値 2023年	目標値 2026年	主要取組施策	取組内容（高齢者・障がい者などの計画取組を含む）	実績	最終値 2026年	目標値に対する結果
1	共に生き、支え合う福祉のまちづくり※1 ※1 2025年度 住民満足度調査より	34.8%	44.6%	46.0%	○生活弱者・社会的弱者に対する生活相談・支援 ○住民税非課税世帯等に対する物価高騰に対する給付金 ○ボランティアの育成・活動支援・ネットワークづくり ○長寿クラブ・障がい者グループなど地域組織への支援	・困りごと相談票を活用し、生活に関する相談窓口を周知 ・物価高騰に対する住民税非課税世帯や、均等割のみ課税世帯への給付金の支給 ・こどもサポートコーディネーター事業により、こどもの居場所づくりの後方支援（こども未来課）としてボランティアの発掘や団体同士の連携推進のための連絡会の開催 ・長寿クラブ、障がい者関係団体への補助金交付	・給付金事業（直近分） 住民税非課税世帯 1,672世帯 住民税均等割のみ課税世帯 546世帯 ・生活困窮者相談支援事業（社協委託） R2～ 1,343件（コロナ貸付含む）、 R7 592件 ・こどもの居場所連絡会 R4 2回、R7 3回 ・子育て支援者連絡会 R4～ 1回、R7 1回、	36.7%	×

基本目標1 思いやり支え合えるひとづくり

	指標の内容	初期値 2020年	中間値 2023年	目標値 2026年	主要取組施策	取組内容	実績	最終値 2026年	目標値に対する結果
1	1 年の間にボランティア活動に携わった人の割合 2026年地域福祉計画アンケートより	12.8%	6.7%	14.0%	地域福祉の推進を担う人材の育成・活動支援 ○福祉人材の育成 ○ボランティアの養成・活動支援の充実	（社協への委託事業による）箕輪町ボランティアセンター7つの機能 1.人づくり（福祉教育） ・ふれあい広場の実施・小中学生向け福祉体験・リサイクル活動 2.情報の収集・発信 ・R3より広報手段としてボランティアセンターのLINE公式アカウント開設、チラシによるボランティアイベントの周知 3.ニーズのマッチング（コーディネート） ・常時ボランティア相談窓口の開設 4.ボランティア活動者のサポート ・R7～新たにボランティア活動育成事業補助金の交付、ボランティア登録、活動保険加入の促進、ボランティア登録団体活動PR動画作成 5.災害ボランティアセンターの設置・運営 ・訓練実施（2年に1回） 6.社会資源の開発 ・フードバンクみのわ事業の実施 7.ネットワークづくり ・社会教育担当者連絡会の開催 ・ボランティアセンター運営委員会の開催	令和元年度 ボランティア登録者数 48団体 1,064人 個人登録人数 104人 相談対応延べ件数 452件 令和4年度 ボランティア登録者数 47団体 1,094人 個人登録人数 100人、相談対応延べ件数 100件 令和7年度 ボランティア登録者数 59団体 1,221人 個人登録人数 152人、相談対応延べ件数 229件	13.3%	×

基本目標 2 誰もが自分らしく暮らせるお互いさまの地域づくり

	指標の内容	初期値 2020年	中間値 2023年	目標値 2026年	主要取組施策	取組内容	実績	最終値 2026年	目標値に対する結果
1	「支え合い活動（ゴミ出しや雪かきなどの支援）」の充実を普段の生活で実感できる割合 2026年地域福祉計画アンケートより、「とても実感できる」、「進んできたと実感できる」と答えた割合	27.2%	34.4%	36.0%	地域住民等による地域福祉活動の推進 ○我が事としてできることから支え合える地域づくりの推進 ○地域の支え合いにつながる地域ケア会議の充実	地区社協による地域住民の支え合い（雪かき・ゴミ出しなど）	生活支援体制整備事業にて、地区社協主体でのマッチングの実施数 令和元年度 415件、令和4年度 303件、令和7年度 227件	26.8%	×
2	1年以内で、地域で行われた活動に参加した割合 2026年地域福祉計画アンケートより、地域で行われた活動いずれかを選択した割合	79.2%	53.2%	82.0%	自分らしく出かけられる場所がある地域づくり ○子どもから高齢者まで地域に集う場の充実 ○地域共生社会の実現に向けた体制整備	みのわいきいきポイント事業の実施 こどもの居場所づくり推進事業（補助金）の実施	みのわいきいきポイント事業参加数 R5 99団体 1,114人 R6 98団体 1,196人 こどもの居場所づくり推進事業補助金交付団体数 R4～ 2団体、 R7 5団体	58.4%	×

基本目標 3 誰もが安心して暮らせるしくみづくり

	指標の内容	初期値 2020年	中間値 2023年	目標値 2026年	主要取組施策	取組内容	実績	最終値 2026年	目標値に対する結果
1	困り事相談窓口を知っている割合 2026年地域福祉計画アンケートより	39.0%	31.6%	50.0%	包括的な相談支援体制の構築・連携体制の強化 ○総合相談・包括的支援体制の構築 ○複合的な課題を抱えた個人・世帯への支援強化 ○分野横断的な支援・一体的なサービス提供の推進	包括支援センターについても周知 重層的支援体制整備事業による一体的相談支援体制の整備（庁舎内・関係機関等と連携し、生活の困りごとを相談支援につなげる体制）	重層的支援に係る調整会議 R2～ 2回、R5 3回、 R7 2回 庁内住民支援連携会議の開催 R2 1回、R4 1回、R7 1回	31.5%	×
2	助けを求めることができる割合 2026年地域福祉計画アンケートより、「隣近所など、誰にでも助けを求めることができる」「友人や家族になら助けを求めることができる」「家族だけになら助けを求めることができる」と答えた割合	89.9%	91.5%	96.0%		・地域における「災害時支えあいマップ」の更新等の機会をとらえ、地域で顔の見える関係を維持する	災害時住民支え合いマップの更新 R元 14区（2年に1回更新の区あり） R4 15区 R7 15区	91.4%	×
3	箕輪町での暮らしが総じて安全安心と思う人の割合 2019年度 箕輪町 S C アンケートより	77.6%	数値なし	増加				数値なし	－